

優輝

～ 期末考査一週間前!! ～

心当たりありませんか？

学年主任 前田 芳博

ある大学教員が語る「よく単位を落とす学生」3つの特徴

【特徴1】問題を先送りにしてしまう

「単位を落とす学生の典型が、問題を先送りにするタイプです。たとえばレポート提出期限の後に『今から提出しても良いですか?』、『遅れたのでメールに添付します』、『レポート締め切りにネットが接続できず提出できませんでした』などと言ってくるパターンはとて多いですね。

【特徴2】基本的なコミュニケーションのマナーを知らない

「よく言われることですが、教員や大学の事務方に対して敬語が使えなかったり、当り前のメールマナーを知らなかったりする学生は単位が取れないことが多い。教員には講義以外にも膨大な仕事があります。メールで名前や所属を名乗らない、敬語を使わない、一方的な要求が書かれている……。

【特徴3】「誰かに相談する」ことができない

「最近よく感じるのは、誰かに相談することが習慣化されていない学生が一定数いる、ということです。保護者や友人、教員や事務員など、とにかく誰でも良いからまずは相談してほしい。自分の中で問題をすべて受け止めてしまい、それで頭や心がグチャグチャになってしまい、最悪の場合、音信不通になったり退学することになったりする学生をたくさん見てきました。

皆さん、心当たりはありますか？

今月(11月)総合探究の授業で、オープンキャンパスについての発表と職業人インタビューの発表がありました。君たちの発表を聞くと、これからしっかり勉強をしないといけない、であるとか、礼儀、挨拶が大切だ、とか、何事にも積極的に取り組むことが大切だなどという言葉をよく聞きました。実にその通りだと思います。

では、翻って、皆さんの現在の行動はどうでしょうか。”学びの姿勢”・”挨拶”・”取組の姿勢”出来ていますか？揃って身につけていますか？忘れ物をする人・授業中寝ている人・遅刻する人……。改めてよく考えてください。皆さんの将来の目標を達成するために必ず必要なことです。君たちの人生の先輩が実体験として大切だと教えていただいています。この文章を読んだら、今からでも遅くない、しっかりやりましょう。先生方はそんな君たちを応援します。約束します。

上記の、ある大学教員が語る「よく単位を落とす学生」3つの特徴も参考に、問題は先送りにせず、基本的なコミュニケーションのマナーを身につけ、「誰かに相談する」ことを忘れずにまずは行動に移そう。そんな君たちに期待しています。



～発熱あれば、まずは電話で相談を～



最近、季節の変わり目の寒暖差もあって体調不良での欠席ちらほらと。発熱時の対応について、県から通達がありました。以下↓概略です。※詳細は、生徒に配布したプリントでご確認ください。

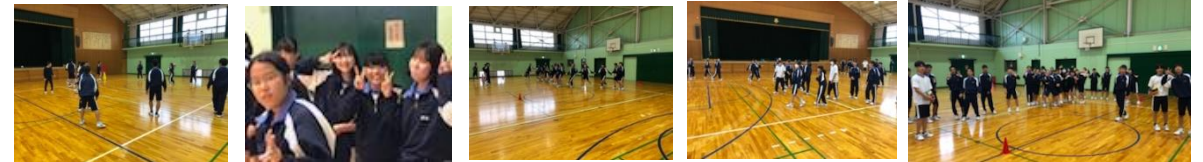
○コロナの影響で医療機関・保健所はひっ迫しているため、まずは電話で相談すること。

○かかりつけ医、それが無い場合や相談先に迷う場合は、発熱等受診相談センターや新型コロナ健康相談コールセンターへ電話し相談をする。特に、連絡せずに、直接病院に行くことは控えること。

11月25日(水) 6限目 LHR クラスレクリエーション

各クラスのHR委員は、放課後に委員会を開き、この時間をみんなで楽しめるように色々と計画・準備をしてくれました。どのクラスもそれぞれに楽しい時間を過ごせていました。HR委員の皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございました。少しですが撮れた写真を掲載します。ご覧ください。

体育館 1・3組 ドッジボール 花いちもんめ など



グラウンド 2・4・7組 ドッジボール 鬼ごっこ けいどろ など



教室 5組 トランプ(大富豪) UNO など



柔道場 6組 百人一首



.....切り取り.....

【コメント記入欄】

1年 組 氏名



※ご質問・ご意見など自由にご活用ください。ご記入いただけたらお子様に持たせてください。